管機連Daily News

2026年10月28日（水）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆10月の月例経済報告、景気判断「緩やかに回復」据え置き

・政府は10月の月例経済報告を公表し、国内の景気判断を維持。「緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」とした。9月まであった「自然災害の影響」の文言を削除し、小幅な改善をにじませた。「全体としては改善の動きがみられる。ただし、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある」と34カ月ぶりに上方修正。

◆会社の将来に「自信ある」、日本は28%で32カ国中最下位　民間調査

・仏調査会社イプソスは世界の会社員を対象にした意識調査の結果を公表。勤務先の将来に自信を持つとする割合は日本では28%と、32カ国中で最下位。管理職に対する魅力でも日本は最下位。会社の今後の方向性について「自信を持っている」とした割合を集計。日本は28%で世界平均の49%を大きく下回った。米国は平均に近い51%、韓国は32%。

◆余暇市場25年は4%増、単価上昇や訪日客が影響　レジャー白書

・日本生産性本部は「レジャー白書2026」を公表。観光やスポーツ、ゲームなどの余暇に関わる産業の2025年市場規模は、前の年に比べ4%増の78兆1320億円となった。物価高による単価上昇や、訪日客需要が伸びた。新型コロナウイルス禍前の19年と比べても8%上回った。市場規模は09年以来の高水準。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆建設業の8割以上が賃上げ実施　平均改定額2万599円――厚労省

・厚生労働省が公表した2026年の「賃金引上げ等の実態に関する調査」結果によると、建設業で1人平均賃金（＝1カ月1人当たりの所定内賃金の平均額）を「引き上げた」または「引き上げる」と答えた企業の割合は85%に上った。建設業の改定額の平均は2万599円、改定率は5.5%で、いずれも全産業平均（1万3926円、4.4%）を上回った。

◆マンション5年転売禁止、東京・千代田区が要請　三菱地所系に

・東京都千代田区は三菱地所レジデンスに区内で計画する分譲マンションに5年間の転売禁止の特約を付すよう要請。投機目的での不動産取引などを抑制する狙い。同区は2025年に業界団体に同様の要請をしたが、個別企業への要請は初めて。三菱地所レジは同日「投機的な取引の抑制は重要な課題と認識している」とした。

◆パナソニックHD、住宅エネ管理機器の販売8割増へ　29年度までに

・パナソニックホールディングスは家庭用エネルギー管理システム（HEMS）内の太陽光発電設備や蓄電池、家電などを制御する中核機器の販売を2029年度までに累計70万台を目指すと明らかに。25年度比で8割増。経済産業省が27年4月に実施する省エネ住宅「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）」基準引き上げで、HEMS需要の拡大を見込む。

≪ 注目商品 ≫

■パナソニック、ベッド下に横置きできる空気清浄機

・ベッドやソファの下にも横置きできる空気清浄機を10月下旬に発売すると発表。設置面積も従来機と比べて約3分の1に削減。約15.5センチメートルの高さがあればベッドやソファの下に設置できる。左右両側から空気を吸い込むファンと直進性の高い気流技術を搭載。



■ミラタップ　メイクに適したコンパクトなミラーキャビネット

・LED照明と収納を一体化したコンパクトなミラーキャビネット「ロイナ」を発売。顔を明るく照らす前面発光LEDと、化粧小物をすっきりと隠せるキャビネット収納を一体化。ミラーを囲むように配置されたLED照明が正面から顔全体を均一に照らす。



■ウッドワン、ノイズレスな下地枠に刷新

・WOシリーズのドアと引き戸に従来設定がなかった枠外高さ2,400ミリ相当の下地枠を追加。天井までの開口をつくることで、垂れ壁がなくなり空間をより広く見せることができる。ドアは戸当たりが目立たない枠形状に刷新。凹凸が減ることで埃が溜まりにくくなり清掃性を向上。

